

BRANZで始める二拠点生活

TOKYO⇄SAPPORO

10

2025

Vol.1

実践ユーザーインタビュー

私たちの 二拠点生活

注目される
これからの豊かな暮らしのトレンド「二拠点生活」

札幌の魅力 教えます！

たとえばこんな暮らし方

二拠点生活モデルケース

「週末旅」「長期滞在」

北海道の二拠点生活に

マンションのすすめ

image photo



東急不動産

「BRANZで始める二拠点生活」 2025年10月

制作：東急不動産株式会社 住宅事業ユニット 札幌支店 〒060-0001 札幌市中央区北1条西4丁目2番2号 札幌ノースプラザ11階 TEL.011-231-2791(代表)



奥様から、まさかの一言。
住む街を「決めない」
という選択。

Aさんはスーパーゼネコンや設計会社を経て、60歳を超えた今も北海道から沖縄まで全国各地で公共施設の設計・建設・運営などに携わっていらつやいます。ご自身は70歳でのリタイアを考えていらつやいました。が、長期的に進行するお仕事も多く「70歳を超えても働くことになりそう」と感じているそうです。

そんな中、なぜ札幌と横浜の二拠点生活を始めることになったのでしょうか。きっかけは奥様の一言でした。実はご夫婦ともに札幌出身で、老後は慣れ親しんだ横浜か、生まれ故郷の札幌のどちらかに住むことになるのだろうかとお考えでした。そこで札幌へ移住するのであれば準備が必要になるため、「どっちに住みたいの？」と聞いてみたところ「どうして決めなきゃいけないの？ 横浜と札幌とフラフラ行き来すればいいじゃない」と奥様はお答えに。実際にAさんはお仕事で全国を渡り歩いていて、横浜のご自宅で過ごすのは週の半分程度。奥様も多趣味でお出掛けになることも多いため、敢えて老後に暮

らす街を決めずに「フラフラ」移動しながら暮らせばいいという結論に至りました。その上で昨今、夏の暑さが厳しいことから避暑地として札幌に長期滞在できるような住まいを持つことを検討し始めたそうです。

決め手は「藻岩山」。
当たり前のように
山景を一望する贅沢。

マンションの検討と時を同じくして、札幌にお住まいのAさんの叔母様からもマンション探しを頼まれたということもあり、以前からお付き合いのあった当社にお声掛けをいただき、〈ブランドズ豊平学園前〉を2戸ご購入いただきました。決め手となったのはなんとと言っても「藻岩山が見えること」。さらに「新千歳空港の空港連絡バスの停留所が近くにある」という空港アクセスの良さが重要なポイントになったようです。もちろん周辺に病院やスーパーなどが充実していることも評価ポイントに。「元々、建設業界にいたのでマンション選びでチェックすべきポイントは分かっていました」というように検討から契約まで2ヶ月ほどというスピード購入となりました。



札幌と横浜を起点に日本全国へ。 活力あふれるビジネスパーソンの二拠点生活。

今回お話を伺ったのは札幌と横浜を拠点に全国各地で活躍されているAさん。
札幌に住まいを持つことになったきっかけや街の魅力など、デュアラーのリアルな声をお届けします。



購入の決め手となった藻岩山をバルコニーから眺めるのが札幌滞在時の楽しみです。

PROFILE



Aさま
神奈川県横浜市／北海道札幌市
「これからは地方の時代だ」という信念のもと全国各地で公共施設を先導するお仕事に従事。二拠点生活を始めたものの週の大半が地方出張に。

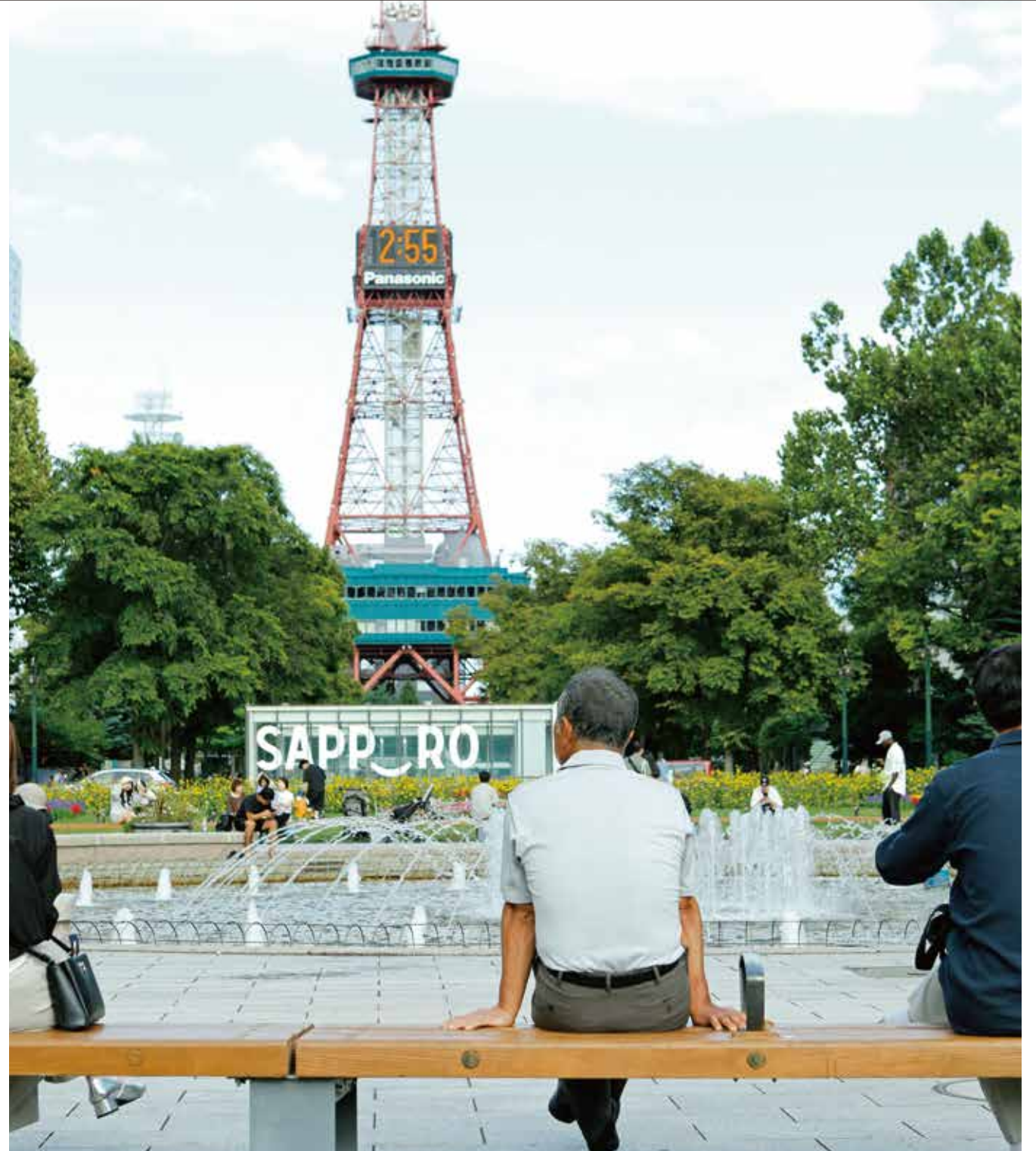


撮影・インタビュー実施/2025年9月15日

うちに泊まってもらって」と購入された2戸のうち1戸をゲストハウスのようにお使いになつていらっしゃるそうです。

いつも大らかに受け入れてくれる居心地の良さが魅力。

札幌の魅力について何うと「これだけの自然がすぐそばにある100万都市は他にないと思います」ということに加えて「色々な地域で仕事をさせてもらって感じているのですが、札幌は他県から来た人をあたたかく迎え入れてくれるので居心地がいいんですね」とご自身の経験を踏まえてお話しくださいました。さらに「札幌はマーケティングテストの都市に選ばれることが多くありますよね。そのおかげか流行やトレンドという部分で東京とのタイムラグが少なく、これはビジネスの視点で考えると乗り遅れることが少なくないんじゃないかと思います」と二拠点生活に不可欠なポイントも教えてくださいました。そして、「やっぱり生まれ育った街なので、一番気持ちが休まるのは札幌なんですよね」と故郷をもうひとつの拠点に選んだ本当の理由を最後にお聞きしたように感じました。



グルメもゴルフも存分に謳歌できる札幌ステイ。

札幌滞在中は取引先との打ち合わせや現地調査などへ出掛けることはもちろん、ご自宅でのリモートワークも。「北海道って、ニセコや東神楽町に代表されるようにワーケーションにも向いていますよね」と改めて生まれ故郷の魅力を味わっています。現在は1ヶ月の4分の1ほどを札幌で過ごされていて、奥様とは一緒に訪れることもあれば、それぞれが別々に訪れることもあるそう。おふたりで滞在できるときは大通や円山、すすきのにあるレストランやバーにお出掛けになり、ゆったりとした時間をお愉しみになつています。その移動手段は「車をこちらに持つてこうかと考えたんですが、地下鉄が便利に使えますし、散歩がてら歩いて出掛けることもあります」というように都心の近さも暮らしやすさにつながっているようです。

趣味はゴルフで、北海道ならではの広大かつ多彩なコースを存分に堪能されています。「札幌に住んでいる友人やかつての仕事仲間と一緒に回っています。大阪や福岡から来る人は、

注目は「ほどよく田舎・ほどよく都会」の
地方都市との二拠点生活

移住や二拠点生活の失敗に「思ったより不便だった」という理由があります。田舎の自然は魅力ですが、一方で交通や買い物など生活の不便さに悩まされることも多いようです。そこで今、注目されているのが「ほどよく田舎・ほどよく都会」の地方都市。

東京圏とはまた違った環境、歴史や文化、食が豊かで近隣には豊かな自然がある「ほどよく田舎」、便利で刺激がある「ほどよく都会」という都市の二面性が魅力です。

特に子育て世帯では「自然だけでなく、教育・医療も整っている場所で」と東京では仕事、地方では家族との暮らしをと考える人もいます。



注目されるこれからの豊かな暮らしのトレンド

「二拠点生活」

皆さんは「二地域居住」「デュアルライフ」などの言葉を聞いたことがあるでしょうか？
コロナ禍以降、リモートワークが増え「どこにいても仕事ができる」自由が増えたことから、
注目されている新しい暮らし方です。

移住とはまた違った“2つの場所での暮らし”を楽しむ新しいトレンド「二拠点生活」をご紹介します。

ディレクション
久保山誠子
(くぼやま せいこ)



千葉県柏市生まれ。リクルートグループで、住宅・就職・結婚情報誌に携わる。2010年、現LIFULLに入社。2013年9月にLIFULL HOME'S PRESSを立ち上げ、編集長就任。媒体コンセプトを実現すべく、全国各地を取材する。現在、LIFULL HOME'S PRESS及びLIFE LISTの2媒体を運営する。

■地域ブランド調査2024市区町村の魅力度等調査結果

順位	2024	2023	市区町村	都道府県	魅力度	
					2024	2023
1	3		函館市	北海道	58.2	56.6
2	1		札幌市	北海道	57.9	59.4
3	2		京都市	京都府	52.3	57.8
4	7		横浜市	神奈川県	51.8	50.7
5	8		小樽市	北海道	50.9	50.6
6	4		金沢市	石川県	48.8	58.1
7	5		鎌倉市	神奈川県	46.9	52.0
8	14		石垣市	沖縄県	46.3	42.8
9	6		神戸市	兵庫県	45.2	51.8
10	11		富良野市	北海道	45.0	45.5

出典：ブランド総合研究所「地域ブランド調査2024市区町村の魅力度等調査結果」<https://news.tikl.jp/articles/4906>

地域ブランド調査の「魅力度」の算出方法
「以下の自治体について、どの程度魅力を感じますか」という問いに対して、「とても魅力的」を100点、「やや魅力的」を50点、「どちらでもない」と「あまり魅力を感じない」、「全く魅力的でない」をいずれも0点として、それらを加重平均して点数を算出。

市町村魅力度ランキングでも上位の札幌市は注目！

その中でも札幌市は魅力のある都市として注目です。

「地域ブランド調査2024市区町村の魅力度等調査結果（※ブランド総合研究所）」によると札幌市は2位（2023年まで3年連続1位）。「とても魅力的」と回答した割合は37.0%。食品想起率で2位、居住意欲度で4位で、食と暮らしで高い結果となっていることから札幌市は“二地域生活の注目都市”といえます。東京から札幌（新千歳）行きは、羽田空港発のJAL・ANA便で1日合計30便以上（※1）、他に複数のLCCが運航して便利です。

今後、二拠点生活のベースとして住宅購入を検討する人もいるでしょう。

全国各地でマンション建設が進んでいます、札幌市でも現在、複数企業が分譲マンション建設を進めています。東京圏の住宅の高騰が続いていることもあり、「いずれは生活の拠点を地方で」と地方都市に住宅を購入する人も増えています。

※1「羽田空港旅客ターミナルホームページ」（2025年10月時点）より。

〈まとめ〉注目の札幌の「二拠点生活」。興味のある方はぜひ札幌に足を運んで、観光だけでない暮らし目線で街の魅力を発見してみると良いでしょう。

国や行政もすすめる「二地域居住」の意義

注目される二地域生活。国も「テレワークの利用の拡大や地方暮らしへの関心が高まるなど“働き方”や“住まい方”に大きな変化が生じていることから、この機を活かして二地域居住等を推進する。」（※国土交通省「二地域居住等の最新動向について」より）としています。

推進のため、令和3年「全国二地域居住等促進協議会」を設立。有識者で構成される「移住・二地域居住等促進専門委員会」も運営を開始し「個人向け二地域居住ハンドブック」など資料も策定しています。

国は「二地域居住」の意義を2つの視点であげています。

ひとつは社会的意義。東京一極集中是正、地方活性化、災害時セーフティネットなどです。

もうひとつが個人的意義。ウェルビーイング向上など、暮らし方の充実をあげています。

《二地域居住の魅力》

新しい体験・多様な経験
都市でも地方でもそれぞれの地域の良さを享受できる新たな出会いや体験が待っています。

新たなコミュニティに参加
今までいた場所では出会えなかったコミュニティに参加できるかもしれません。多様な趣味のサークルやご近所づきあいなど人や場とのつながりが身近に。

働き方・暮らし方・生き方の充実や実現
自身の志向や感性に応じて、時間や場所を選択できるライフスタイルです。地域の自然や食、歴史文化、レジャーなどを日常的に味わうことが可能になり、充実した生活を営めます。

地域に必要とされる存在・自己実現
自分の趣味や特技、培った経験を多様な地域で発揮することで、その地域の助けになるとともに、やりがいや生きがいにつながります。

災害時のいざという時の避難場所として
日本はいつ災害に見舞われるか分からない災害列島です。二地域居住をしていれば、いざというときに住み慣れた地域へ避難することができます。

将来の移住に向けて
現在の拠点を残しながら、別の地域での生活をお試し。移住に比べて、かかわりを残しながら、新たな生活スタイルを取り込めるのが良いところ。

出典：国土交通省「個人向け二地域居住ハンドブック」より <https://www.mlit.go.jp/2chiiki/files/23112802kokudo.pdf>

国とともに進める二地域居住がもたらす豊かさ

二拠点生活への関心の高まりとともに、国の政策としても推進が進むなか、私たち一般社団法人シェアリングエコノミー協会もその促進に取り組んでいます。

都市と地方、あるいは複数の地域に暮らしの拠点を持つことは、働き方やライフスタイルの多様化が進む今、豊かな生き方のひとつとして注目されています。

リモートワークの広がりや地域資源を活かした新しい仕事のかたち、空き家や地域コミュニティをつなぐシェアリングサービスの普及により、二拠点居住はより身近で実現しやすい暮らし方となりつつあります。

個人にとっては都市の利便性と自然や人とのつ

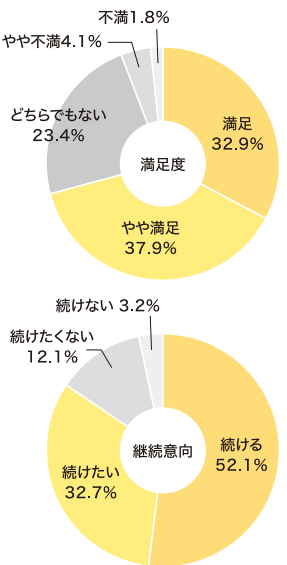


ながりを両立できる「豊かさ」を享受でき、地域にとっては関係人口の創出や文化・産業の活性化にもつながります。

人口減少や高齢化など地域課題の解決にも寄与する可能性を持つ二拠点生活は、日本の新しい暮らしのかたちであり、持続可能で豊かな社会を築く大切な一歩になると考えています。

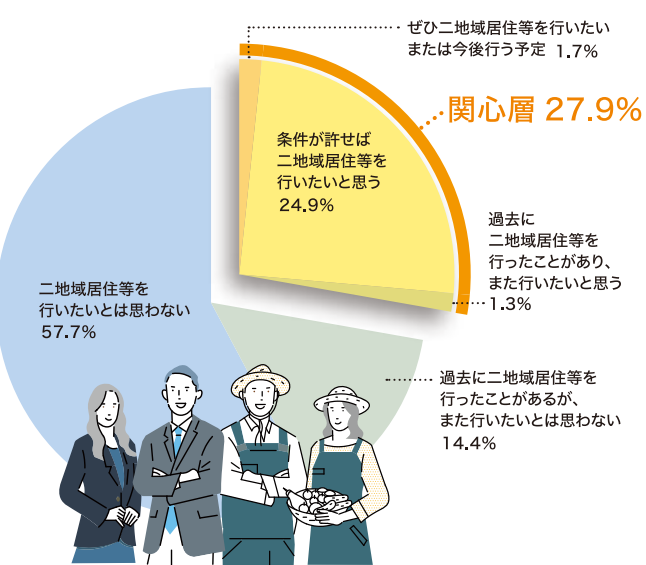
一般社団法人 シェアリングエコノミー協会

■二地域居住等の満足度、継続意向



出典：「二地域居住に関するアンケート」（国土交通省、令和4年9月実施）
<https://www.mlit.go.jp/2chiiki/files/23112802kokudo.pdf>

■二地域居住に関するアンケート



出典：国土交通省「二地域居住に関するアンケート」（インターネット調査、令和4年8月31日～9月12日）
<https://www.mlit.go.jp/2chiiki/files/23112802kokudo.pdf>

「二拠点生活」の関心度と実践者の満足度は？

では、「二拠点生活」の関心度はどうなのでしょう。

令和4年度の国交省調査「二地域居住に関するアンケート」では「約3割が二地域居住等の関心層」という結果がでています。

また、2023年の内閣府調査では「20歳代の約半数が地方移住への関心を示している」という結果もでています。

（※内閣府「第6回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」令和5年4月）
https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result6_covid.pdf

二拠点生活実践者の満足度はどうなのでしょう。

実践者の約70%が「満足・やや満足」、なんと約85%が「継続意向あり」と回答しています（※国土交通省「二地域居住に関するアンケート」）。

20歳代若者層の地方移住関心度も高く、実践者の満足度や継続意向が高いことをあわせると「二拠点生活」は今後、「スタンダードな暮らし方のひとつ」になる可能性があるのです。

札幌市中心部エリアマップ



札幌は、雪などのイメージが強く、移動に時間が掛かって大変そうだと思うかもしれませんが、実際はスムーズで快適。地下鉄、市電、バスなどの公共交通が充実しているため、季節を問わずお出掛けしやすい環境が整っています。そのため他地域と比べて通勤・通学時間が短いことも特長のひとつです。さらに都心では地下鉄「さっぽろ」駅から「大通」駅、「すすきの」駅までの間に地下歩行



通勤・通学時間の比較(片道)



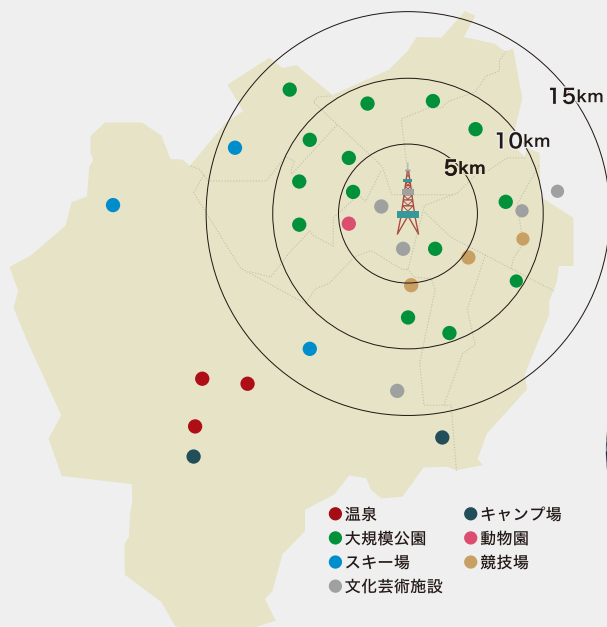
出典:令和3年社会生活基本調査 生活時間 就業上の地位「うち雇用されている人」の通勤・通学時間より作成
※<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/users-g/word7.htm>より
大都市圏とは、広域的な都市地域を規定するため行政区画を越えて設定した統計上の地域区分であり、中心市及びその中心市への15歳以上通勤・通学者数の割合が当該市町村の常住人口の1.5%以上であり、かつ中心市と接続している周辺市町村によって構成しています。それぞれの大都市圏の「中心市」は、以下となります。
札幌大都市圏:札幌市、関東大都市圏:さいたま市・千葉市・東京都特別区部・横浜市・川崎市・相模原市

通勤・通学、お買い物だけでなく、休日のお出掛けもしやすい札幌。中心部(テレビ塔起点)から15キロ圏に文化施設やレジャースポットが点在しています。
例えば、「大通」駅から3駅の「円山公園」駅には北海道神宮や円山動物園があり、観光客だけでなく多くの市民で賑わっています。また、気軽にトレッキングが楽しめる円山や展望台から札幌が一望できる藻岩山などの山々も身近な存在。暮らしのすぐそばに豊かな自然が広がり、

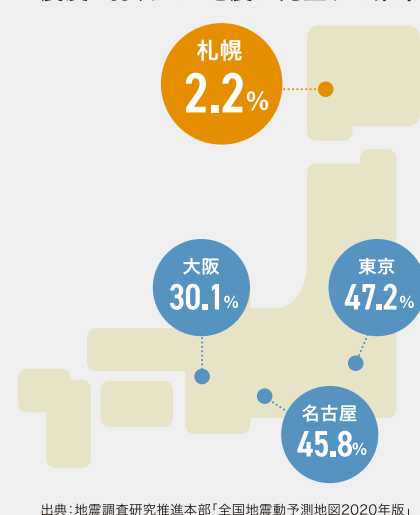
中心部から15キロ圏で存分に北海道が堪能できる

四季折々の美しさを堪能しながら季節の移ろいを肌で感じるができます。

札幌周辺レジャースポット概念図



今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率



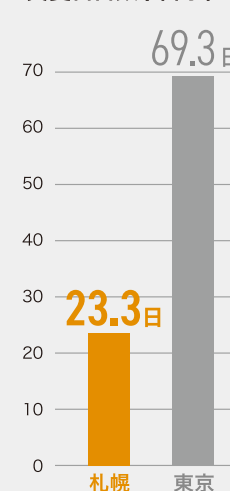
出典:地震調査研究推進本部「全国地震動予測地図2020年版」

札幌の魅力教えます!

「札幌は暮らしやすい」とよく耳にしますが、どのようなことが暮らしやすさにつながっているのでしょうか。
観光だけではわからない、住んでわかる暮らしの魅力をご紹介します。



2021年～2023年の真夏日数(年間平均)



出典:気象庁ホームページ

2021年～2024年の7～9月平均気温



出典:気象庁ホームページ

2023年～2024年の熱帯夜日数(年間平均)



出典:気象庁ホームページ

札幌の魅力として、まず挙げられるのが、爽やかな夏。近年、北海道も少しずつ暑くなってきていますが、本州と比べるとまだまだ湿度が低く、過ごしやすいといわれています。実際に東京と札幌を比較してみると平均気温は4度ほど低く、真夏日についても東京の69・3日に對して、札幌は23・3日。厳しい暑さは1年のうちで2週間ほどしかありません。また、夜になると気温



が下がるため、熱帯夜が圧倒的に少なく、寝苦しい夜が東京と比べて少ないことも魅力のひとつです。

ジメジメせず、カラッと快適 過ごしやすい夏の暑さ



花粉総飛散量(スギ・ヒノキ)

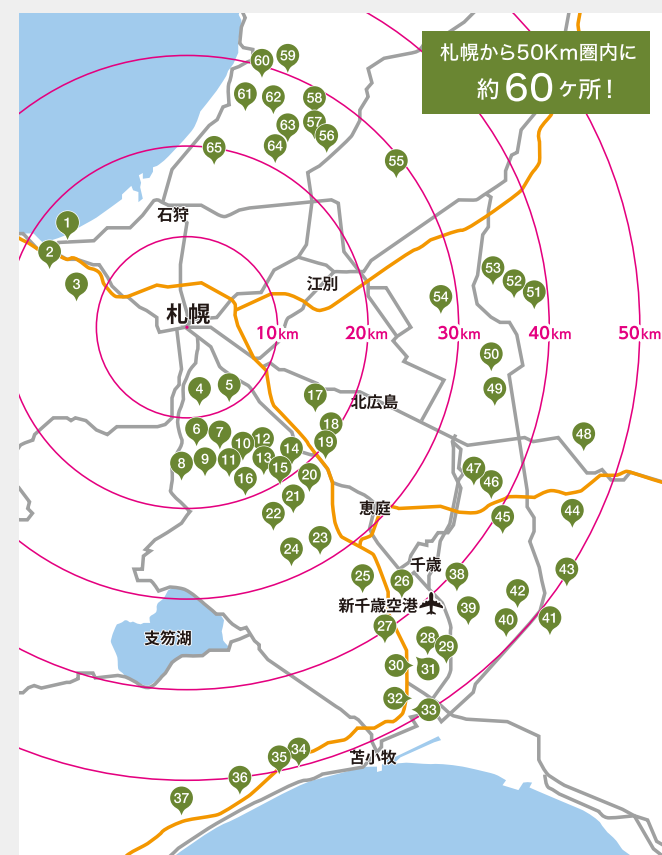


出典:環境省ホームページ 花粉情報サイト
2025年春(2月～5月)のスギヒノキ花粉測定値

も。そのため二拠点生活を始める際には事前に耳鼻科などでアレルギー検査をしておく安心です。

スギやヒノキの花粉が少ない 春先の花粉症も安心

札幌周辺ゴルフ場概念図



札幌は暮らしのなかにおたのしみが盛りたくさん!

札幌から車で1時間圏内にゴルフ場が点在

日本で最もゴルフ場が多い北海道は、質・量ともにゴルフ好きには堪らない絶好の環境といわれています。札幌も南は千歳・苫小牧方面、北は石狩方面と近郊エリアも含めて多くのゴルフ場が身近に。そのなかにはトーナメントが開催されている名門コースも。冬季の積雪でプレー期間は限られますが、



滝のカントリークラブ(提供写真)

雄大な風景を堪能しながらゴルフ三昧の日々を過ごすことができます。

大自然に抱かれたキャンプ場や白銀のゲレンデも日常の一部に

北海道の自然を満喫するならアウトドアは外せません。札幌市内・近郊には多種多様なキャンプ場があり、登山や釣り、カヌーといったアクティビティと組み合わせる楽しみができます。手ぶらで利用できるプランを備えたキャンプ場も多く、アウトドア初心者も気軽に体験可能です。そして、雪が降り始めた期待のスキーズーン。

札幌周辺にもパウダースノーが楽しめるスキー場が多く、思い立ったがすぐにゲレンデへ出発。滑り終えたら自宅へ帰ってこれる身近さは札幌ならではの贅沢といえるでしょう。このように都心から少し離れただけで表情豊かな自然とふれあえるのが札幌の日常。都市と自然、その恵みが享受できることは大きな魅力です。



all image photo



北海道の海の幸、山の幸が一堂に会するグルメの街「札幌」。

札幌は、北海道の中心都市として各地の食材が集まるグルメシティ。それらの「美味しさ」を目的に旅行で訪れる方も多く、都心には多彩な飲食店が軒を連ねています。もちろん日々の暮らしのなかでも気軽に食べ歩きが楽しめることも魅力です。寿司やジンギスカン、ラーメンなどは定番と呼ばれる数多

くの名店が揃っているので、きっと自分好みの一店が見つかるはず。また、スーパーなどへ行くとも北海道産の魚介や精肉、野菜などを手頃に出ることが出来ます。札幌へ移住すれば、これらの新鮮な食材が日常のものとなり、お料理の楽しみもいっそう増していくでしょう。



all image photo



image photo

札幌のソウルフードやディープなローカルグルメも。

住んでから「ハマる」美味しさがあるのも札幌の魅力。今や札幌のソウルフードとなったスープカレーは、お店ごとに味わいが異なるので、まずは食べ比べてお気に入りの味を見つけてるのがおすすめ。また、観光では味わうことの少ない焼き鳥もぜひ。豚肉と玉ねぎを使った室蘭焼き鳥や、鶏の様々な部位を使用した美唄焼き鳥など地域によって個性豊かな焼き鳥文化を楽しむことができます。もちろん札幌でも味わうことができるので、こちらの食べ比べも。この他にも地元民に愛さ

休日や夜のお供に、とっておきのスイーツも。

北海道グルメで忘れてはならないのが、自慢の乳製品や旬の果物などを使用したスイーツの数々。家族のデザートやお持たせはもちろん、近年では飲んだ後や食事の後に食べる「シメパフェ」というカルチャーも。街中を見回すと老若男女がスイーツを気軽に楽しむことが当たり前の風景になっています。



image photo



美唄焼き鳥



ぎょうざカレー



スープカレー

all image photo

札幌は交通ネットワークが充実しているため、市内はもろろん、他都市へのアクセスもスムーズ。JRを使用すれば、話題のボールパークがある「北広島」駅へ「札幌」駅から16分。また情緒あふれる運河やガラス工芸などが愉しめる「小樽」駅も34分。これまで憧

話題のボールパークも定番の小樽なども身近に

れの観光地だった街が、札幌に移住すると生活の一部となるのです。



image photo



image photo

※掲載の札幌周辺ゴルフ場概念図は、地図を基に札幌市周辺をイラスト化し、主要なゴルフ場をプロットしたもので、地形・距離・方向等は実際とは異なります。また一部道路は省略しております。
※掲載の所要時間は日中平常時のもので時間帯により異なります。日中平常時は9:00～16:00に目的駅に到着する最短の所要時間を表記しています。2025年10月時点のダイヤによるものです。「ジョルダン」調べ。
「北広島」駅へ16分：JR千歳線「札幌」駅よりJR千歳線快速エアポート利用直通。「小樽」駅へ34分：JR函館本線「札幌」駅よりJR函館本線快速エアポート利用直通。

5

SATURDAY
22:00すすきのでディナー後、
セカンドハウスに「帰宅」

すすきのの馴染みの店でディナー後、セカンドハウスへ。札幌都心からも近い立地だから、帰宅してからゆっくりとくつろぐ時間が生まれます。

※ブランド円山裏参道レジデンス建物内モデルルーム（Dタイプ204号室、一部有償オプション含む）で撮影（2025年10月）

移動時間が短いから予定を詰め込んでも余裕があります。思い切り遊びを楽しんだ後は十分に休息して仕事への意欲を高められます。

7

SUNDAY
15:00東京の自宅へ帰宅
明日からの仕事に備えて体を休める

※大通公園で撮影（2025年10月）

image photo

4

SATURDAY
12:00車で近郊のゴルフ場へ
その後は仲間とディナー

都市と自然の距離が近い札幌市は、近郊にゴルフ場が充実しています。北海道ならではの雄大な大自然の中でのプレーは非日常感たっぷり。

1

金曜日の午前中はメインの東京拠点でテレワーク。午後からの移動に備えて軽めに調整。

FRIDAY
9:00東京の自宅で
テレワーク

※ブランド円山裏参道レジデンス建物内モデルルーム（Dタイプ204号室、一部有償オプション含む）で撮影（2025年10月）

二拠点生活
モデルケース 1
週末旅

CASE : 1

仕事も遊びも充実させたいアクティブ世帯におすすめしたい、週末だけの二拠点居住生活。非日常に身を置いてリフレッシュしながらも、第2の「我が家」でリラックスもできる、欲張りな暮らし方です。

TIME SCHEDULE

SUNDAY

15:00
東京の自宅5:00
大通公園でランニング

SATURDAY

22:00
すすきのでディナー12:00
札幌近郊のゴルフ場へ

FRIDAY

22:00
札幌のセカンドハウス18:00
エスコンフィールド14:00
羽田空港9:00
東京の自宅

3

FRIDAY
18:00エスコンフィールドで
野球観戦

image photo



新千歳空港から1時間ほどかけて、新球場エスコンフィールドHOKKAIDOを擁する「北海道ボールパークFビレッジ」へ移動。野球観戦を楽しみます。



2

FRIDAY
14:00仕事を午前中で切り上げて
羽田から新千歳へ

お昼のフライトで北海道へ。東京からおよそ1時間半で着くから午後の時間を有効に使えます。





image photo

Active

GOLF

ひさしぶりに
夫婦揃ってゴルフ

運動不足解消に夫婦でゴルフ。札幌市内から車で1時間以内の距離に60ヶ所以上ものゴルフ場があり、思い立ったらすぐに出かけられます。

Relax

地元の隠れ家カフェを開拓するのも長期滞在の醍醐味。店主のこだわりに耳を傾けながら、時間をかけてコーヒーを堪能します。

※プランズ札幌大通東建物内モデルルーム
(Eタイプ205号室、一部有償オプション含む)で撮影(2025年10月)



CAFE

セカンドハウス近くのカフェで
じっくりコーヒーを堪能

Relax

COOKING

近所のスーパーで買った
有機野菜で料理



image photo



近所のスーパーで今日のディナーの買い出し。北海道産の新鮮な食材に舌鼓。

Active

SHORT TRIP

札幌から車で富良野へ
お気に入りのホテルに宿泊



富良野へ2泊3日の小旅行。拠点が札幌にあれば、混み合う時期を外して気ままに北海道内を回るのも楽々。

image photo

Relax

RELAXING

セカンドハウスで
映画鑑賞や読書を楽しむ



いつもと違う環境で知的探求や芸術と向き合えるのも二拠点生活ならではの。それぞれが一人を楽しむ贅沢な時間です。

※プランズ札幌大通東建物内モデルルーム
(Eタイプ205号室、一部有償オプション含む)で撮影(2025年10月)

Active

BEER GARDEN

ビアガーデンの賑わいに誘われ
大通公園を散策



image photo

散策で北海道の爽やかな空気を楽しんだあとは、大通公園で開催されている「さっぽろ大通ビアガーデン」へも足をのびます。短い夏を謳歌する賑わいの中で飲むビールは格別。

二拠点生活 モデルケース2 長期滞在

CASE : 2

より自由に時間を使える世帯におすすめなのが長期滞在型の二拠点生活。暑さを避けて夏場だけ北海道に滞在したり、ウインタースポーツを楽しみたいから冬の間だけ滞在するなど、場所に縛られない暮らし方が可能に。

TIME SCHEDULE

春	夏	秋	冬
東京の自宅	本州の暑さを避け 夏の1ヶ月間は 北海道へ	東京の自宅	東京の自宅

Active

DINNER

顔馴染みになった
円山裏参道の老舗寿司店へ

セカンドハウスを訪れる度に足繁く通う寿司店に、今回も夫婦揃って顔を出します。少しだけドレスアップして非日常気分を。



image photo

北海道での二拠点生活に マンションのすすめ

ここまで多様な視点で、札幌との二拠点生活をするために考えるべきポイントや、分譲マンションが適していることをご紹介してきました。
ここでは、そのまとめとして、大きく6つのポイントをピックアップ。
北海道・札幌という特有の気候・風土で暮らすための住まい選びを整理します。

POINT
1

断熱性・気密性が高く
夏でも冬でも快適



内廊下設計や二重窓の設置、高い断熱性能が、冬は室内の熱を逃さず、夏は外からの熱を防ぎ、一年を通じて心地よい室内空間を保ちます。

POINT
2

冬の寒さや雪対策に
対応した充実の設備・仕様



駐車場やマンション出入口はロードヒーティングを敷設しているので、雪かきの心配は不要。また室内は床暖房や各部屋ごとの暖房が標準装備されており、寒い冬も快適です。

POINT
3

荷物が送りがやすく
保管しやすい



宅配ボックスを備えておりゴルフバッグなど、滞在中の荷物を到着前（不在時）でも受取可能。またトランクルームを設置している物件も多く、荷物の保管がしやすくなっています。

POINT
4

住まない期間も安心
セキュリティ体制



一戸建て住宅と異なり、マンション全体でセキュリティ体制が整えられています。さらに長期間不在時に清掃など住まいを維持・管理するサービスも。*

POINT
5

地下鉄駅徒歩圏が多く
お出掛けしやすい立地



都心立地かつ駅近立地が多いのでショッピングなど日常生活の利便性も高く公共交通機関を利用してお出掛けもしやすいので札幌を存分にお楽しみいただけます。

POINT
6

資産として
活用しやすい



数年間にわたって不在になってしまう場合も賃貸物件として運用したり、売却ができるなど「資産」として活用できます。

all image photo

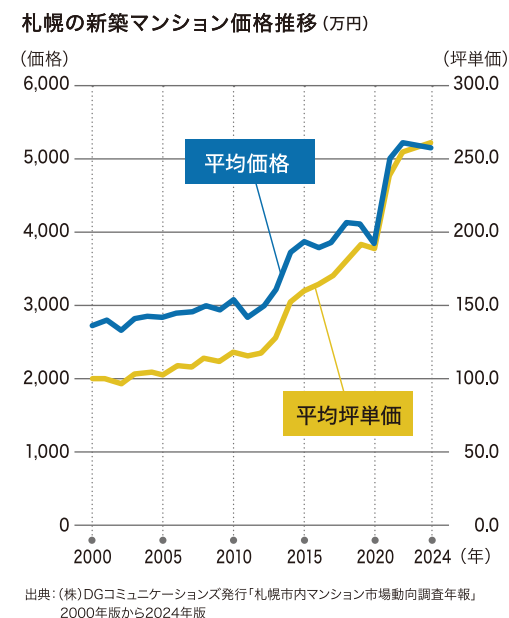
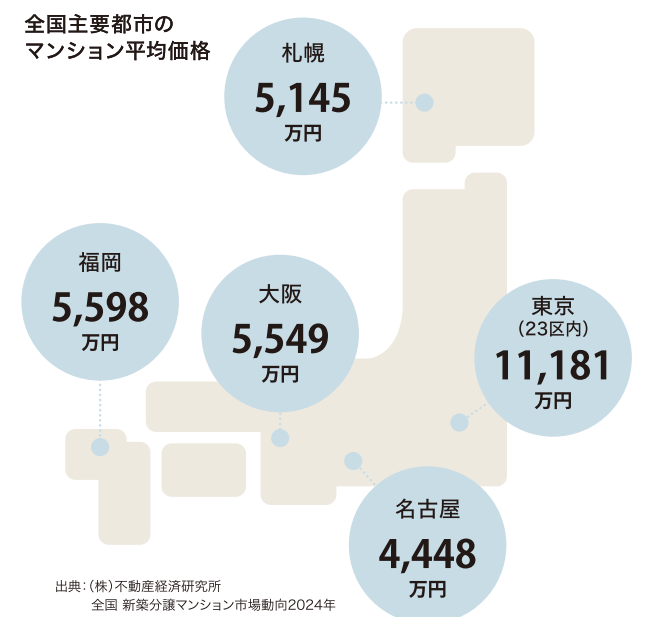
「定期ルームマネジメントサービス」で、
ご不在時の不安を払拭。*

二拠点生活では、どうしてもお住まいを不在にする期間が生じてしまいます。その間に必要となる簡易的な清掃や換気、通水、郵便物の受取などを一括して行う定期ルームマネジメントサービスもございますので、いつ訪れても清潔で居心地のいいお住まいを叶えます。

※1 別途サービス提供会社とのご契約が必要となり、ご利用の際は有料となります。また、サービス内容は変更となる場合がございます。物件によりご利用いただけない場合もございます。

二拠点生活に「札幌の分譲マンション」が 注目されている本当の理由。

従来とは異なる二拠点生活の住まい選びにおいて、いま札幌の分譲マンションが注目されています。
なぜ札幌が買い時なのか。そして、なぜ分譲マンションなのかを紐解いていきます。



二拠点生活の住まいに
分譲マンションという選択。

北海道に暮らすのであれば大きな自然が広がる郊外に大きな一戸建てを...という夢は誰もが持つもの。しかし、現実的に二拠点生活の住まいとして考えると事情が変わってきます。まず二拠点生活は季節やライフスタイルによって拠点を移す暮らし方。そのため、不在期間の管理を考えるとやはり難しい。その点、マンションであれば事業主や管理会社などが提供する有料サービスを活用することで清掃などの維持・管理がしやすくなります。さらに札幌の場合は冬季に積雪するため、雪かきの必要も。ロードヒーティングが敷設されているマンションであれば、その手間も軽減されます。

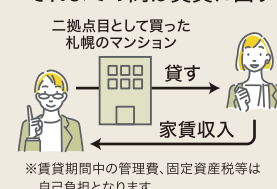
また分譲マンションを購入することは資産形成という観点からもメリットがあります。もし、一時的に二拠点生活の継続が難しくなったとしても賃貸物件として貸し出すことで家賃収入を得ることが可能です。また昨今、中古マンション市場も上昇していることから状況に応じて売却も選択肢のひとつに。さらに相続時には、現金や有価証券よりも節税効果が期待できる点も注目すべきでしょう。

多様な居住形態があるなかで二拠点生活にマンションが多く選ばれている理由。それは居住性の高さはもちろん、資産として将来を見据えた柔軟な対応力を持っていることだといえます。

「セカンドハウス」という資産を保有する。
使わなくなった場合は、「貸す」ことや「売る」ことも
できるのが、分譲マンションを選ぶメリット。

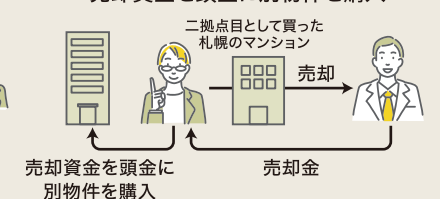
分譲マンションは、居住しない期間があってもご自身の資産であり、さまざまな活用ができることが強み。
例えば、「セカンドハウス」としての利用をやめたとしても、賃貸マンションとして家賃収入を得たり、場合によっては売却してほかの不動産の購入に充てるなどの、柔軟な運用が可能です。

将来的に移住を考えている
それまでの間は賃貸に出す



買い替える

売却資金を頭金に別物件を購入



東急不動産は、2006年に誕生したBRANZを通じて北海道・札幌に新しい価値を提供し続けています。

札幌の地で45年、100棟の実績。*

※「アルス」シリーズを含む1978年~2024年における実績。2025年10月現在販売中物件を除く。

札幌市内 ブランズ供給マップ



B 都心エリア

ランドマークのさっぽろテレビ塔、札幌市時計台があり、商業施設やオフィスビルが立ち並ぶ利便性の高いエリアです。緑豊かな大通公園では年間を通して様々なイベントが開催され、都会のオアシスとなっています。大通駅は札幌市営地下鉄3路線が集まる中心駅で、市内全域やJR札幌駅へのアクセスが容易です。「サツエキ・大通・すすきの」の3大都市エリアは地下街や地下歩行空間でつながっており、その利便性は都心生活ならではの最大の魅力となっています。



〈分譲実績〉

- [2007年] ①ブランズひばりが丘
- [2008年] ②ブランズひばりが丘駅前イースト
③ブランズ東札幌
④ブランズ円山北
- [2009年] ⑤ブランズ東札幌図書館前
⑥ブランズ札幌桑園駅前イースト
⑦ブランズ札幌桑園駅前ウエスト
⑧ブランズ麻生パークゲート
- [2010年] ⑨ブランズ麻生アーバンゲート
- [2011年] ⑩ブランズ澄川パークフロント
⑪ブランズ円山南
⑫ブランズ豊平公園駅前
- [2012年] ⑬ブランズ南郷
⑭ブランズ北24条ウエスト
⑮ブランズ円山鳥居前
⑯ブランズ大通公園
- [2013年] ⑰ブランズ円山公園
⑱ブランズタワー札幌
⑲ブランズ北24条イースト
- [2014年] ⑳ブランズ円山裏参道
㉑ブランズ宮の森
㉒ブランズ琴似
- [2015年] ㉓ブランズ平岸駅前
㉔ブランズ札幌中島公園
- [2016年] ㉕ブランズ円山
- [2017年] ㉖ブランズタワーアイム札幌大通公園
㉗ブランズ札幌大通
- [2018年] ㉘ブランズ円山北6条
㉙ブランズ北33条
- [2019年] ㉚ブランズ琴似中央
㉛ブランズ円山外苑前
- [2021年] ㉜ブランズ札幌南7条
- [2023年] ㉝ブランズ円山裏参道テラス
㉞ブランズタワー札幌大通公園
㉟ブランズ新札幌
- [2024年] ㊱ブランズ環状通駅前

A 円山エリア

円山公園や北海道神宮、円山動物園といった自然や文化に触れられる施設が身近にあり、四季を感じながら暮らせるエリアです。周辺にはバラエティ豊かなショップが集う「マルヤマクラス」やおしゃれなカフェ・ショップ・レストランなど、雰囲気の良いお店が点在する「裏参道」があります。教育・医療環境も整っているので、穏やかで上質な暮らしができる憧れのエリアです。子育て世代からシニア層まで多くの方にとって魅力的な住みやすい街です。



C 豊平エリア

豊平エリアは、地下鉄や主要道路が整備されており、都心部へのアクセスが良好で通勤・通学に便利なエリアです。豊平川沿いの豊かな自然やスポーツ施設も有する豊平公園が身近にあり、四季を感じながら暮らせる点も魅力の一つ。買い物施設や飲食店も充実しており、生活利便性が高いのも特徴です。さらに、豊平神社や歴史ある寺院など、地域の文化を感じられるスポットも点在。地域活動も活発で、幅広い世代にとって住みやすい地域です。

